

第7回 運営推進会議資料

日時：令和1年9月14日(土) 11:00～12:00

場所：デイサービスセンターみのり

- 1、施設長挨拶
 デイサービスセンターみのり
- 2、参加者の自己紹介
- 3、施設概要
- 4、利用登録状況
- 5、行事・レク・研修・会議の実施報告
- 6、満足度調査報告
- 7、ヒヤリハット・事故及び苦情報告
- 8、その他報告等
- 9、出席者からの活動状況の評価・要望・助言等の聴取
- 10、閉会

1) 第7回デイサービスセンターみのり運営推進会議の開催についての挨拶

2) 会議出席者

【運営推進会議委員】

ご家族代表	1名
大宅学区民生児童委員協議会	1名
老人福祉員	1名
大宅地域包括支援センター	1名

【デイサービスセンターみのり関係者】

管理者	1名
-----	----

3) 施設概要

令和1年9月現在

名称	デイサービスセンターみのり
所在地	京都市山科区大宅烏井脇町3番地
開設年月日	平成23年8月8日
サービスの種類	地域密着型通所介護・介護予防型デイサービス
一日の利用定員	10名
対応地域	京都市内（山科区、伏見区醍醐）
提供日	月 火 水 木 金 （12月29日から1月3日は休み）
営業時間	8:30~17:30
提供時間	9:15~16:20
職員	管理者（兼務1名） 生活相談員（兼務2名） 介護職員（兼務1名 専任5名） 機能訓練指導員（兼務1名） 経験年数（10年以上3名、5年以上1名、3年以下3名）
資格	介護福祉士（3名） 介護支援専門員（1名） 柔道整復師（1名） その他ヘルパー2級以上（3名） ※資格は重複しています。
情報の公表方法	ホームページ、パンフレット、区役所提出 等

4) 利用登録者概要

令和1年9月現在

登録者数	14名
介護度別登録者数	要介護1（2名）要介護2（3名）要介護3（7名） 要介護4（0名）要介護5（1名）
	要支援（1名）
登録状況	月（7名）火（6名）水（6名）木（6名）金（8名）

前回の6ヶ月前平成31年3月

登録者数	17名
介護度別登録者数	要介護1(3名) 要介護2(6名) 要介護3(3名) 要介護4(2名) 要介護5(1名)
	要支援(1名)
登録状況	月(10名) 火(6名) 水(9名) 木(7名) 金(8名)

5) 行事・レクリエーション・研修・会議の実施報告

【誕生日会実施状況】

4月 2名
5月 0名
6月 2名
7月 3名
8月 2名
9月 0名

内容：誕生日ケーキ、記念撮影と寄せ書きの色紙プレゼント

【行事实施状況】

3月 花見(平安神宮、記念撮影、)
8月 デイサービスセンターみのり夏祭り
(金魚すくい、射的、屋台、ビンゴ大会、記念撮影など)

【研修報告】

4月：OJT研修

- ・目的を理解する
- ・中堅職員からの指導
- ・個別対応の検討

6月：クレーム対応研修

- ・事業所内の処理対応の理解
- ・クレーム事例検討
- ・クレームの対処方法

8月：リスクマネジメント研修

- ・リスクマネジメントの基礎知識
- ・KYT(危険予知訓練)
- ・業務中のリスクを抽出と検討

【会議報告】

※毎月の月例会議と定例会議の実施

6) 3月：満足度会議

(満足度調査結果)

- ・年2回の満足度調査を実施しています。

実施人数：男性4名 女性13名 計17名(入院等の欠席者を除く)

[調査内容]

	満足	普通	不満足	満足度
(%)				
1. ご利用内容	17名	0名	0名	100%
2. 食事内容	17名	0名	0名	100%
3. 送迎	16名	1名	0名	94%
4. 入浴	17名	0名	0名	100%
5. 機能訓練	17名	0名	0名	100%
6. レクリエーション	16名	1名	0名	94%
7. 喫茶	16名	1名	0名	94%
8. 職員対応	16名	1名	0名	94%

〈アンケートの回答結果から〉

- ・一名の方で、普通との回答があり、理由の確認と改善をするためのお話をさせて頂きましたが、特に改善してほしい訳ではないとの事でした。
- ・全ての項目で、満足いただけるようなサービス提供を行う。

3月：業務改善検討会議

議題：入浴介助

- ①準備
- ②介助
- ③最近のADLについて
- ④職員間のルール

6月：マニュアル検討会議

- ・各職員からの日常業務を聞き取り、マニュアルについての意見交換を行う。

1. 日常業務についてマニュアルの問題点を検討するが、現状のマニュアルに沿って行っているサービス提供や業務に関しては特に変更を行う事はないとの結果であった。
2. 今回、検討会議によって本年度も現行のマニュアルを継続して使用することとする。

7月：サービス検討会議

- ・各項目の介助方法や対応が統一できるようにする。
- ・送迎時介助、入浴介助、食事介助、トイレ介助等の介助方法の統一化を行いサービスの質の向上のために、自主的に介護職員間での話し合いと確認を行った。

情報の共有が出来たことで、各職員の業務に対する安心感につながった。

8月：権利擁護会議

- ・権利擁護についての理解
- ・虐待状況について

7) 【事故報告・ヒヤリハット及び苦情報告】

〈ヒヤリハット〉

- ① 極端な変形性膝関節症のため両膝が屈曲され歩行状態が不安定にならている利用者様を自宅へ送る際に、工事中のため足場をベニア板で作られている不安定なエントランスでバランスを崩し職員にぶら下がりながらゆっくり膝折れされた。
- ② 入浴介助中にシャンプーボトルが落ちて、利用者様の左下肢に当たったことで、後日しばらく痛みの訴えがあった。
- ③ 車椅子の方を自宅玄関でベットまで手引きする際に、上がり框で膝オレになり、職員が支えきれなくなり座り込まれた。

〈事故報告〉

- ① 入浴介助時に、浴室で車椅子を回転させた際に、壁に右足第3趾と4趾が当たり少量の出血があった。
- ② 浴室から脱衣所へ出る際に、足マットが滑り転倒される。

8) その他報告等

- ④ やましな認知症サポート連絡会での活動内容
 - ・開催：令和1年10月26日（土）27日（日）予定
 - ・開催場所：京都刑務所
 - ・「矯正展」運営委員としての参加
 - ⑤ 30年度第2回「つながろう大宅」への参加
 - ・災害時安否確認等について（グループワーク）
- ※別紙参照

9) 意見交換と評価(感想)

【報告内容についての評価】

- ① 権利擁護について
管理者：年2回の権利擁護研修について包括支援センターは、どのような内容を行っているかを聞かせて頂きたいと質問する。

包括：包括支援センターでは、1回目に社会福祉士から話をしてもらう研修を行いました。

2回目は、現場のスタッフによるグループワークを行い、危険リスクや拘束についてのディスカッションを行いました。また、中堅スタッフからは、適切な介護が提供されているか事例を用いながら、権利擁護の質についてディスカッションを行った。

民生委員：介護現場からの話を聞いて、普通に行っていることが、拘束になるとは「ビックリ！しました。」

② 介護サービスの必要性と問題点について

管理者：上がり框で膝折れされた方のヒヤリハットで、今後の対応を検討し車いすでの昇降を行うように変更したことを話す。

民生委員：息子が介護タクシーをやっているが、段差や階段などの障害物があっても、必ず上の部屋まで送らないといけない事があることを聞いて大変さを感じた。

老人福祉員：母が94歳で5年前からグループホームに入所しているが、入浴拒否などもあり、介護職員の大変さを感じる。

【デイサービス運営についての質問や要望など】

① 入浴サービスについて

民生委員：近所の銭湯を利用して入浴を継続していた方が、銭湯が閉鎖されることで、定期的な入浴が出来なくなるそうです。何か良い方法はないでしょうか。

管理者：介護認定が取れたら様々なサービスが提供できる。

包括：まずは、ご本人が介護認定を受けることに抵抗があるケースが多いので、簡単ではない。

② つながろう大宅について（災害時安否確認等）

相談員：台風や大雨などの気象情報が出た際に、開所するか中止するかを決めるタイミングや判断がわからない。

会議では、各事業所が独自に判断しているため、今後どのようにしたらよいか困っている。

民生委員：避難準備や避難場所などの情報が良くわからない。避難場所がわかっているけど、実際に行ったら開いているかが心配になる。

包括：多職種連携が必要と思います。

出来るだけ、行政が判断を下すようにして欲しいですが、今のところは、何も決まりがないのが現状です。

特殊なケースですが、ある事業所は何が起きても開所すると決めているそうです。また、他の事業所では、遠方から出社する従業員が公共の交通機関が停止して出社できないことがあったそうです。

- ・次回令和2年3月予定の第8回運営推進会議の出席確認・連絡方法等

10) 閉会の挨拶